



ハトダヨ
2017年
12月号

函 〇

館

市 中 央 図 書 館

編集・発行 函館市中央図書館
指定管理者 TRC 函館グループ

TEL 35-5500 FAX 35-5525

ト

フ

目

だより

第20号 平成29年12月1日 発行

予約ランキング

図書館でたくさん予約が入っている本は何か、みなさんにご存知でしょうか。ランキングを参考に読みたい本を探すのも一つの方法です。ご予約は図書館の窓口、またはインターネットからどうぞ。

＼平成29年11月1日現在、予約回数の多かった本をご案内しています／

1	マスカレード・ナイト	東野 圭吾／著	11	かがみの孤城	辻村 深月／著
2	この世の春 上	宮部 みゆき／著	12	素敵な日本人	東野 圭吾／著
3	この世の春 下	宮部 みゆき／著	13	宮辻薬東宮	宮部 みゆき／著ほか
4	アキラとあきら	池井戸 潤／著	14	BUTTER	柚木 麻子／著
5	月の満ち欠け	佐藤 正午／著	15	砂上	桜木 紫乃／著
6	劇場	又吉 直樹／著	16	コーヒーが冷めないうちに	川口 俊和／著
7	変幻	今野 敏／著	17	真夏の雷管	佐々木 譲／著
8	AX	伊坂 幸太郎／著	18	デンジャラス	桐野 夏生／著
9	この嘘がばれないうちに	川口 俊和／著	19	とるとだす	畠中 恵／著
10	蜜蜂と遠雷	恩田 陸／著	20	アンカー	今野 敏／著

イベント告知

図書館 DE クリスマス XIII

今年も図書館ではクリスマスイベントを開催します！

ぜひお気軽にご参加ください！

お話会と工作

12月23日(土)

10:00~11:30

定員子ども20名(先着順)

12月8日から受付開始します！

光る影絵

12月23日(土)

14:00~14:50

(開場 13:30~)

視聴覚ホール

クリスマス上映会

12月24日(日)①10:00~11:35

②14:00~15:36

視聴覚ホール

新春企画



お楽しみ袋



今年も様々なテーマのお楽しみ袋をご用意します！

平成30年1月4日(木)

11:00~

一般書 25袋 総合カウンター前

児童書 25袋 児童カウンター前

詳しくは館内チラシ・ポスターをご覧ください



「手づくり絵本コンクール」教育長賞受賞

「布絵本ボランティア」活動内容

布絵本製作ボランティアは2007年より活動を始め、今年で10年目となりました。月に4回、31名のボランティアの方が活動し、布絵本の製作や修繕をしています。

現在、布絵本ボランティアの方が製作した布絵本は90点以上となり、児童の親子ふれあいコーナーや日曜のおはなしのへや開放、保健所の10ヶ月乳幼児健診の場で、赤ちゃんや小さなお子様をもつ親子の方々が、布絵本の温かさを感じながら楽しんでいます。

12月4日(月)から回廊展示コーナーで「布絵本作品展」を開催します。受賞作品も展示しますので、どうぞお越しください。



下松教育長賞受賞作品「しょくいく」



「野間読書推進賞」受賞

「函館朗読奉仕会」活動内容

函館朗読奉仕会は1975年に団体を設立し、今年で42年目となりました。対面朗読、図書テープの作成、読み聞かせ、市民向け函館朗読紀行朗読、市民向け古典文学朗読などの活動をしています。盲学校とは学習発表会、入学式、卒業式、運動会等で交流があり、学習発表会では朗読劇などを披露しています。

「ピッコロ」は、毎月おはなしの部屋で行っている読み聞かせの他、お話会のイベントでも子どもたちに色々なお話を読んで楽しんでもらっています。「こもれび」は、目の不自由な方など活字による読書が困難な方に、希望する本や雑誌、パンフレットなどを対面朗読室でお読みしています。視聴覚ホールで行う朗読会はいつも満席になり大変好評です。

イベントは、チラシやポスターで随時お知らせしておりますので、ぜひご参加ください。





布絵本ボランティア「糸ぐるま」の皆さん「手づくり絵本コンクール」教育長賞受賞おめでとうございませう。「函館朗読奉仕会」の皆さん「野間読書推進賞」受賞おめでとうございませう。

私は、函館市中央図書館に赴任して以来、両団体の活動を目の当たりにし、そのレベルの高さを感じました。長く図書館で働いてきたので、いくつもの図書館で活動する布絵本を作成する団体、朗読、読み聞かせ、対面朗読をしている団体を見てきましたが、函館の団体の活動は中でも非常に高い水準であると思えました。

前任地の石狩市民図書館にも布絵本ボランティア「にじ」があり、かなり前から布絵本の全国コンクールに出品し、毎年入賞しています。石狩ではコンクール参加で、技術も上がり活動も活発になりましたので、函館でもコンクール参加を勧めました。石狩は山口県下松市で行われている「手作り絵本コンクール」に何年も出品を続け、布絵本部門の最高位である教育長賞を昨年初めて受賞、初参加の函館は佳作入賞でした。今年石狩市はエントリーしませんでした。が、函館の「糸ぐるま」は、参加二年目で教育長賞の栄誉に輝きました。

朗読活動をするグループは、全国に数多くあります。「函館朗読奉仕会」は、単に対面朗読、読み聞かせを行うだけではなく、社会貢献のために、函館の歴史や文学を紹介するなど活動は多岐に渡っています。また、会員の技術向上の取り組みなども定期的に行っています。私は活動内容をきちんとまとめれば受賞できると思いましたが、推薦者としての責任を感じました。読書週間を主催する読書運動推進協議会が与えるこの賞は、今年は全国で二十三団体の中から選ばれたそうです。

図書館で活動してくれるボランティアの方々はこの二団体の方以外にもたくさんおられます。しかし、その活動にこのような表彰があることはあまりありません。ボランティアの皆さんは一生懸命図書館のために尽くしてください。図書館では、このような賞を差し上げることができませんが図書館職員一同、本当に感謝しています。



教育長と・・・

受賞したということで、教育長とお話してきました！

「糸ぐるま」

食育をテーマにした布絵本は、マジックテープで一つ一つの食べ物が取り外しできる工夫がされています。それを聞いた教育長は「子どもたちの心をととも豊かにしてくれるもの」「シンプルで色使いが素晴らしい」と感心されていました。

糸ぐるまのメンバーは「子ども達もすごい喜んでくれる」「それぞれのページを担当し、こだわりを持って作成している」「これからも心を合わせて活動していきます」と笑顔で応えていました。



「函館朗読奉仕会」

今回、読書推進賞という読書につながる活動を評価された函館朗読奉仕会。メンバーは「長年続けてこれたのは、いろんな方々から支援があったから」「日々、勉強。アクセントについては函館弁でもいいのだがNHKアクセント辞典を買ってみんなで勉強した」「結婚して仕事を辞めた女性たちが、何かやりたい、自分たちにできないか、という思いから生まれ活動が始まった」とお話していました。

教育長は「市としてもこの受賞を喜んでい」とコメントされていました。



ハトダヨにしか
載っていない!

ぜひ読んでみてください!

スタッフのおすすめ本

タイトル: 「赤毛のアン クリスマス・ブック」

棚: B6~B10
請求記号: Y594 コリ

著者: C. S. コリンズ 出版社: 東洋書林 (2000年11月)

12月に入ると、函館の街はクリスマス一色! ベイエリアには大きなツリーが飾られ、存在感があります。クリスマスが待ち遠しいのは誰でも同じではないでしょうか。ツリーにリース、ケーキにプレゼント。街もイルミネーションでキラキラ輝き楽しいな雰囲気に変わります。

物語の世界でも、クリスマスは特別なものとして描かれることが多いようです。「赤毛のアンクリスマスブック」では、赤毛のアンシリーズのクリスマスのシーンから様々な祝日習慣を紹介しています。常緑樹の枝で飾りを作ったり、「心の同類」に手作りの贈り物を用意したり、クリスマス・コンサートを計画したり…。

アン風のクリスマスを楽しみながら、物語を読み返してみるのもおすすめです。

タイトル: 「ダイ・ハード2」

棚: 閉架-1
請求記号: B933.7 ウェ

著者: ウォルター・ウェイジャー 訳: 小梨 直 出版社: 二見書房 (1990年7月)

ケネディ空港へやってきた主人公マローン。マローンは妻子と別居中だが、娘ケイトがクリスマスを父親と過ごすため飛行機でやってくるのだ。そんな親子を不運な事件が襲う!

みなさんご存じ大ヒットアクションシリーズ第2作目の原作であるこの小説。映画では目が点になるようなド派手演出満載ですが、原作のこの小説は、テロリストとの頭脳戦が繰り広げられます。

娘の乗った飛行機が墜落するまであと58分、ニューヨーク市警警部マローンは娘を救うため奮闘する! クリスマス間近のケネディ空港で起こるサスペンスを、映画との雰囲気の違いを感じながら楽しんでみてはいかがでしょうか。

タイトル: 「世界で一番の贈りもの」

棚: J23~25
請求記号: 933 モハ

作: マイケル・モーパーゴ 画: マイケル・フォアマン 出版社: 評論社 (2005年11月)

がらくた屋の店先で見つけたこわれかけの机。その秘密の引き出しの中から古い一通の手紙が見つかります。それは第一次世界大戦中イギリス軍の将校として戦地にいる夫から、妻へ向けて書かれたものでした。手紙にはクリスマスに起きた奇跡が綴られています。自分たちに向けてドイツ兵から振られた白旗、互いにふるまったお酒や食べ物、サッカーの試合、クリスマスキャロル…。戦争中の二つの国の兵士たちが、この日は戦いをやめ、共に楽しくクリスマスを祝ったというものでした。この手紙を読んだ主人公は、自分もまた一つの奇跡を起こすべく、車を走らせます。

実際に起きた「クリスマス休戦」を基に書かれた物語を美しい挿絵が彩ります。

温かくもせつない、心に残る物語です。